

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 コミュニカ学院

1 事業の趣旨・目的

地域で学ぶ学習者に、日本語学習アドバイジングのサービスを提供することで、学習者が主体的、自律的に自らの学習をデザインし、日本語学習を進められるようにするため

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月14日	コミュニカ学院	青木直子、野口淳二、松原マリナ、長嶋昭雄、湯口恵、奥田純子、竹田悦子、丸山友子、	『学習アドバイザー養成講座』の実施内容、スケジュール、広報等について	①前年度の課題の検討 ②内容、担当、広報、日程、開催場所の確認及び意見交換 ③役割分担の決定 ④広報先の確定、チラシ文言等の検討
10月29日	コミュニカ学院	青木直子、野口淳二、松原マリナ、長嶋昭雄、湯口恵、奥田純子、竹田悦子、丸山友子、	講座進捗状況の共有とスケジュールの確認	①広報、講座実施状況について中間報告 ②スケジュール、内容の再調整 ③必要器材、リソースの再調整 ④地域の他機関・団体との共有報告
3月26日	コミュニカ学院	青木直子、野口淳二、松原マリナ、長嶋昭雄、湯口恵、奥田純子、竹田悦子、丸山友子、	養成講座の実施状況の共有 事業評価	①講座生の出席、受講状況、内容の報告 ②実施事業のプログラム評価 ③今年度の課題 ④次年度に向けた課題の整理 ⑤報告書の内容等検討

【写真】



3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名

『学習アドバイザー養成講座』

(2) 研修の目標。

学習者自身が学習の目的、目標、内容、計画、方法を自己決定し、それを実行して評価することを助ける「学習アドバイジング」の実践力を養成すること。

(3) 受講者の総数 6 人 (出身・国籍別内訳 日本人 3, 台湾 1 人, 中国 2 人)

(4) 開催時間数(回数) 42 時間 (14 回)

(5) 参加対象者の要件:

2 年以上のボランティアとしての日本語指導の経験者。

(6) 受講者の募集方法

連携している地域の支援団体「ひょうご日本語ネット」、兵庫県下の日本語教室、兵庫県、神戸市に対し募集チラシの送付、インターネット媒体による広報。

(7) 研修会場

ア 講義: コミュニカ学院

イ 実習: コミュニカ学院

(8) 使用した教材・リソース

講師作成ハンドアウト、各種日本語教材等、Website 学習ツール

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
10 月 17 日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第 1 回(講義) ・オリエンテーション、・講義の目的とアド バイジング概論 (自己主導型学習、学習者 オートノミーとは)	大阪大学大学院教授 青木直子氏	6 名

10月24日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第2回(講義) ・ アドバイジング概論（セルフアクセス、 アドバイジングとは ・『日本語ポートフォリオ』とは	大阪大学大学院教授 青木直子氏	6名
10月31日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第3回(講義) ・ アドバイザーに必要な能力・知識・態度	大阪大学大学院教授 青木直子氏	5名
11月07日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第4回(講義) ・ セルフアクセスセンターの機能と活用方法	大阪大学大学院教授 青木直子氏	4名
11月21日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第5回(講義) ・ アドバイジング模擬練習 ・ 日本語ポートフォリオの使い方	大阪大学大学院教授 青木直子氏	5名
12月12日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第6回(実習) ・ セルフアクセスセンターへのチェックイン	コミュニケーション学院講師 内田さつき氏	5名
12月19日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第7回(実習) ・ 日本語ポートフォリオを使ったアドバイジング1	コミュニケーション学院講師 内田さつき氏	4名
1月16日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第8回(講義) ・ アドバイジング報告の内容と書き方	大阪大学大学院教授 青木直子氏	5名
1月23日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第9回(実習) ・ 日本語ポートフォリオを使ったアドバイジング2	コミュニケーション学院講師 内田さつき氏	3名
1月30日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第10回(実習) ・ アドバイザーの言葉（質問の仕方）と学習計画・方法・評価の引き出し方	コミュニケーション学院講師 内田さつき氏	5名
2月06日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第11回(実習) ・ 学習目的にあったリソース、Webを使った学習案内	コミュニケーション学院講師 内田さつき氏	5名
2月20日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第12回(講義) ・ アドバイジング実習の振り返りと講義のまとめ	大阪大学大学院教授 青木直子氏	4名

2月27日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第13回(実習) ・日本語ポートフォリオを活用した学習計画・方法のアドバイジング	コミュニカ学院講師 内田さつき氏	3名
3月06日 13:00～ 16:00	学習アドバイザー養成講座第14回(実習) ・日本語ポートフォリオを活用した学習評価のアドバイジング	コミュニカ学院講師 内田さつき氏	5名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

この講座のよかったところは何ですか？

- 学習者の自主性を重んじること。
- 傾聴や話し方の重要性を認識できた。素晴らしい仲間にめぐり会えた。
- 日本語を教えることでアドバイザーの目線で指導できたら学習に対して、続けやすくなるのではないかなと思いました。
- 学習者の目線にそって、アドバイスできる方法を学んだこと。これから生かしたい。

もう一度この講座をするとしたら、変えたほうがよいところがありますか？

- 講座終了と同時にセンターが閉鎖になるのは淋しい限りです。学習者が来ないので、学んだ事の実習ができず残念です。
- 授業がもっと聞きたかったです。
- 実習を多くして、より多くの活動をしてみたい。

この講座で学んだことは何ですか。

- 分ろうとする気持ちをみつけさせること。教えるのではなく助言すること。
- アドバイジングの大切さと難しさ。論理的に説明して頂いたので理解はできたが、実践するのは難しそう。長い目で続けられればと思います。
- アドバイジングの仕方とリソースの分けかた。
- 私はアドバイザーに適しているかは不明だが、ボランティア日本語教師を続けるなかで、アドバイジングをできる限り生かしたい。

もう一度この講座を受けるとしたら、自分の取り組み方で変えたいことはありますか？

- 実際の活動と結びつけながら受講する。
- 支援経験を積んでから。
- 無いです。
- より多くの時間を実習に使いたい。

全体として満足していますか？それは、なぜですか？

- 多文化共生サポーターとして新たな視点を見つけることができた。
- 非常に満足しています。内容はもとより先生も仲間も素晴らしかったです。
- 満足しています。先生の授業はすばらしかったです。たくさんの人と出会って友達も増えました。
- 青木先生の講座は懇切丁寧だった。それで、アドバイジングの主旨がよく理解できた。今後も生かしたい。

② 実施主体からの研修内容結果評価

青木講師作成の講義ハンドアウトは、昨年のもにより多くの情報や内容が追加され、受講生の満足度も高く、非常に充実した講義内容であった。受講生はそれまでのボランティア経験や日本語教育に関する知識・技能に個人差もあり、内容の理解度にばらつきがあったものの、それぞれが自宅学習等によって理解不足等を補い、熱心に取り組んだと思われる。実習は一人ひとりに十分にアドバイジングがきるスキルが身につくところまでできなかったが、リソースについての知識や整備の仕方はある程度身についたものと評価できる。今後、日本語学習支援の実践の場でアドバイジングを活用することでスキルを磨いていくことが期待できる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

修了生にアドバイザーとして活躍してもらい、学習アドバイジングによる日本語学習の輪を広げていきたい。各日本語教室等における学習支援のサポート体制の層を厚くすることに貢献するため、さまざまな日本語教室にアドバイザーの存在を周知していきたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

兵庫ボランティアネット(兵庫県下の日本語学習支援・教育関係の組織、団体、自治体 6 団体のネットワーク)の定例実務者会議で取り組みの報告と学習アドバイザーに関する周知を行い、外国人支援体制づくりの一環とした。

② 研修後の人材活用

受講生が現在活動しているボランティア教室で実際にアドバイザーを実施することを予定。

(12) 今後の課題

講義(理論編)は、受講生の自宅学習等によってフォローされているので、内容、質は維持し、より新しい情報等や事例を紹介していくことを目指したい。実習については、シミュレーションの時間をより多く取るなど、アドバイジングのスキル向上の工夫が課題である。アドバイジングは、地域の日本語教室ではいまだなじみが薄く、アドバイザーについてより多くのボランティアに周知していくことも課題である。以上

じゅこうりょう むりょう
受講料 無料
じゅこうしゃ ぼしゅう
受講者 募集

し き
締め切り
2010 年
10 月 8 日(金)

◆ 講義 予定日(7回) ◆

2010 年
10 月 17 日、24 日、31 日
11 月 7 日、21 日

2011 年
1 月 16 日
2 月 20 日

◆ 実習 予定日(7回) ◆

下記の日程のうち 7 日 選択
2010 年
10 月 17 日、24 日、31 日
11 月 7 日、21 日
12 月 12 日、19 日

2011 年
1 月 16 日、23 日、30 日
2 月 6 日、20 日、27 日
3 月 6 日

ぶんかちょう へいせい ねんど せいかつしゃ がいこくじん にほんごきょういくじぎょう
文化庁 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

がくしゅう ようせいこうざ
学習アドバイザー養成講座

—「自分で決めてやってみる日本語学習」のサポートをしよう!—

ボランティアを対象に学習のアドバイジングをする学習アドバイザー
の養成講座を行います。学習のアドバイジングというのは、日本語を指導
したり、教えたりすることではありません。学習者がイニシアチブをとって
日本語学習をすすめていけるようにサポートをすることです。

講師：青木直子先生（大阪大学大学院教授）他

講義&実習：10 月 17 日～3 月 6 日 全14 回
3時間/回（13：00～16：00）日曜日

場所：コミュニケーション学院

受講対象者：・2年以上のボランティアとしての日本語指導の経験者
・14回の講座&実習の全てに出席できる方

募集人数：10名（応募多数の場合は選考）

申し込み方法：下記の申し込みフォームに記入の上、
FAX または E-mail でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先：

コミュニケーション学院（担当：丸山）
〒650-0031 神戸市中央区東町 1 1 6 - 2
TEL：(078)333-7720 FAX：(078)333-8570
E-mail：maruyama@communica-institute.org



もう こ
申し込みフォーム

❖ 名前：		❖ 性別 男 ・ 女	❖ 年齢： さい 歳
❖ 住所：			
❖ TEL：		❖ E-MAIL @	
❖ 日本語指導の経験 有・無 「有」→経験年数と活動場所をご記入ください。 「無」→今後日本語指導を行う予定はありますか？予定がある場合は、いつから、どこで指導するかご記入ください。			